

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和5年度川内川水系水害リスクライン改良検討業務
業 務 概 要	計画準備 1式、資料収集・整理 1式、河道条件の最適化 1式、洪水予測システムの精度向上検討 1式、リスクライン表示システムの更新用データの作成 1式、出水時の運用管理 1式、報告書作成 1式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 川内川河川事務所長 杉町 英明 薩摩川内市東大小路町20番2号
契 約 年 月 日	令和 5年 7月 31日
契 約 業 者 名	(株) 建設技術研究所
契 約 業 者 の 住 所	福岡県福岡市中央区大名2-4-12
契 約 金 額	11,847,000円(税込み)
予 定 価 格	11,847,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 務 場 所	川内川河川事務所管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 5年 8月 1日
履 行 期 間 (至)	令和 6年 3月 22日
備 考	

別紙

契約理由書

1. 業務件名 令和5年度川内川水系リスクライン改良検討業務

2. 履行場所 川内川河川事務所管内

3. 契約の相手方 住所: 福岡県福岡市中央区大名2-4-12
会社名: 株式会社建設技術研究所 九州支社
電話: 092-714-2211

4. 契約適用法令 会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、洪水予測システムにおける基礎データおよび表示システムデータの更新ならびに洪水予測システムの精度向上検討等を行うものである。

2) 業務の内容

計画準備 1式、資料収集・整理 1式、河道条件の最適化 1式、洪水予測システムの精度向上検討 1式、リスクライン表示システムの更新用データの作成 1式、出水時の運用管理 1式、報告書作成 1式

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を20者が入手(ダウンロード)し、1者から参加表明書が提出され、1者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち1者を技術提案書の提出者として選定し、1者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断された。

特に「実施方針・実施フロー・工程表・その他」については最も優れた評価であり、本業務の目的・条件・内容を十分に理解した上で適確に業務量が把握されており、業務の計画的遂行が裏付けられるものであった。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

川内川河川事務所 流域治水課長